



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年12月12日 No.732

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

大崎西口  
南地区

## デッキはムダ遣い

### 2.6億円の工事を5億円の仕様に

大崎駅から各再開発ビルをむすぶ歩行者デッキは必要以上にグレードアップしていました。



先の定例区議会に、区長が提案した「大崎駅西口南地区関連歩行者デッキ整備工事委託契約」が賛成多数で可決しました。しかし、このデッキ工事そのものが税金のムダ遣いだけでなく破たんした再開発を推進するものです。共産党は反対しました。

この歩行者デッキは大崎駅から道路に降りずそのまま歩いて西口の各再開発ビルに行ける歩道のネットワーク。大崎駅からウエストシティタワーズおよび明電舎ビルまで完成、現在ソニービルまで延伸工事中です。今回の契約はこれをさらに「大崎駅西口南地区」に56戸延伸するもの。金額5億223万6千円で独立行政法人都市再生機構東京都心支社に委託します。

歩行者デッキの工事は再開発の利益から出されますが、さらに税金から1億3千440万円もの補助金が支出されます。

しかし、大崎駅周辺の高級マンション販売不振など再開発が破たん状況なのに、なぜデッキ工事をするのでしょうか。

者キ  
行デ  
歩デ

# グレードアップする 工事に、なぜ税金？

大崎駅西口南地区開発に8億円も補助金を追加、デッキ工事に1億3千万円余と莫大な税金が投入されます。しかし、大崎駅周辺再開発が破たんし直画、このデッキ工事は二重三重の税金のムダ遣いです。

デッキ工事の問題の第一は、税金からの補助金は不要、ムダ遣いだということ。を「標準仕様」より高額にしたり、「標準仕様」にはない庇(ひさし)をつけるなど豪華にグレードアップしたため。契約金額と補助金

補助金についての考え方は「国の認める『標準的仕様』による工事費の2分の1」です。補助金が1億3千440万円とすることは、このデッキ工事の「標準仕様」による金額として国が認めているのは、補助金の2倍、2億6千880万円だということ。ところ、工事契約金額は5億2千23万6千円と「標準仕様」の2倍近い金額。これは、建材

## 破たんした再開発を推進：

もうひとつは、破たんしている大崎駅西口南地区開発計画を推進する問題です。

大崎駅からデッキでむすぶ西口南地区開発計画は地価下落で計画がとん挫しています。

再開発は、地権者は「等価交

との差額3億6千783万円余は開発事業者が負担します。

なぜ、国の「標準仕様」よりグレードアップする工事に税金から補助する必要があるのか。グレードアップする金額を負担できるのに、なぜ補助金が必要なのか理解できません。

国の「標準仕様」で建設すれば開発事業者の負担だけで可能です。グレードアップする工事にわざわざ補助金を出すなど税金のムダ遣いです。

ストシティタワーズはマンションの販売不振。南地区開発のマンション280戸も売れる保証はありません。「等価交換」できずマンションが売れないという事態は再開発が事業として成り立たないということです。

品川区は、とん挫した南地区開発の地価下落分を補うため、取り壊す建物の補償を増額して補助金を27億円から35億円に8億円も追加。あわせてデッキ工事を先行させて強引に開発工事に着工する考えです。

税金投入を増額すればビルは建設できます。しかし、住民説明会では「幽霊屋敷になるのでは…」の声もでました。開発をすすめるデッキ工事は二重三重に税金のムダ遣いです。

困り  
のときは

お気軽に  
ご相談ください

みやざき克俊事務所  
TEL 378616674



法律相談は毎月開催